

ブルサ日本文化週間 2017 の開催について

平成 29 年 2 月 16 日～17 日、当館は、ブルサにおいて、「ブルサ日本文化週間 2017」を、ブルサ・ウルヤマ日本友好協会、ブルサ市、ニルフェル区等との共催で開催しました。

期間中には 4 件の事業が行われ、多くの市民・学生・生徒の皆様にご参加やご協力をいただきました。

●ニルフェル区日本庭園における日本紹介事業

(平成 29 年 2 月 16 日(木)14:00～、於:ニルフェル区日本庭園)

ボズベイ・ニルフェル区長出席の下、ニルフェル区日本庭園内のカフェで、公邸料理人・常田裕路氏より、オリジナルの和スイーツを紹介し、トルコ語のレシピを贈呈しました。また、イスタンブール在住の芙蓉の会メンバーによる箏演奏や、茶道のデモンストレーションを行いました。



●ブルサ・ウルヤマ日本友好協会設立25周年の会

(2 月 16 日(木)19:00～ 於:ブルサ市内ホテル)

ブルサにおける日本友好団体であるブルサ・ウルヤマ日本友好協会が設立 25 周年の節目を迎え、記念の会が開催されました。芙蓉の会メンバーの箏の演奏に引き続き、来場者に日本茶が振る舞われました。トルコ側からも、黒海地方の民族舞踊の披露などが行われ、ブルサと日本の友好関係を確かめ合う場となりました。



●第3回トルコ折り紙コンテスト授賞式

(平成29年2月17日(金)10:30～ ブルサ・ニルフェル特別支援教育校)

トルコの小・中学生を対象に、年齢グループ毎に、①伝統的折り紙部門、②フリー部門(創作部門)と、部門ごとに、審査委員会が厳正に審査し、1—3位までを発表・表彰しました。生徒・児童の皆さんが折り紙に真剣に取り組む努力の姿に、惜しみない拍手が送られました。



●日本・トルコ未来対話2017(ブルサ・ウルダー大学における総領事講演会)

(平成29年2月17日(金)14:00、於:ブルサ・ウルダー大学)

江原総領事が、ブルサの総合大学であるウルダー大学において、経済学部を中心とする学生・院生200人を前に「日本・トルコ関係の過去・現在・未来」と題し、両国関係の交流のエピソードや現状、展望に関する講演を行い、熱心に聴講した学生と活発な質疑応答が行われました。

